

関東支部報告

平成 31 年度 共晶会関東支部活動報告

令和元年度共晶会関東支部総会には、名古屋大学から興戸正純教授をお招きすることができました。参加者は昨年度より 1 名増えて、興戸先生を含む 16 名が、いつもの学士会館（東京・神保町）で楽しいひとときを過ごすことができました。

共晶会関東支部は、この支部総会から支部長が交代し、井上茂（S56 卒、S58 修士。坂尾研）が就任しました。前任の柴山卓真氏は、2011 年度から 8 年間に亘り共晶会関東支部の継続・発展に力を尽くして来られました。長年に亘り、お疲れ様でした。

興戸先生は沖研究室に所属して S52 年に卒業され、S54 年に博士課程前期課程を修了されました。その後も名古屋大学一筋に過ごして来られ、共晶会会員で知らない者は居ない先生です。最近では 2012 年度に名古屋大学エコトピア科学研究所教授、2013 年度に同研究所副所長、2015 年度には同研究所所長に就任されました。その後 2018 年度まで、（同研究所が発展的に解消して設立された）名古屋大学未来材料・システム研究所所長の重責を担われました。

総会では、そういった興戸先生の長年に亘る豊富な知見を基に、興味深い講演をしていただきました。講演の前半は、毎年恒例となっている名古屋大学（金属系学科）の現状についてご紹介いただきました。母校を離れて長年が経ち、学会活動やリクルート活動などからも遠ざかっている身としては、この情報は現状を知る貴重な機会です。今は材料工学科と化学工学科が統合してマテリアル工学科になり、昭和年代の卒業生には当然であった「金属」や「鉄鋼」は跡形もなく、昔年の面影はどうなったかとの思いを禁じ得ません。学科名だけではなく、講座の内容でも鉄の研究をしている講座は数える程で時代の流れを感じます。それでも工学部 5 号館などの写真が映し出されると、懐かしい想いが溢れてきます。

講演の中では、現在の名古屋大学（マテリアル工学科）が抱える課題、即ち、マテリアル工学科の立ち位置として、例えば博士課程後期課程在籍者の充足率不足や大学入試志願者の倍率低下なども紹介されました。博士課程後期課程への進学希望者の不足についてはマスコミ報道でも取り上げられる日本全体の問題でもあり、また入試志願者の倍率低下については高校生に如何に材料工学の魅力を伝えるかという古くて新しい問題が続いていることを感じさせます。

講演の後半では、興戸先生の研究業績が紹介されました。その研究業績は多岐に亘り、①金属微粒子の作製と形態制御、②酸化物皮膜の作製と特性評価、③機能性膜のナノ構造、④骨代替用 Ti・Mg 材料の表面改質、などについてご説明いただきました。浅学の身には十分な理解ができたか心許ないのですが、興戸先生が社会に役に立つ研究をしようという熱意はひしひしと伝わって来ました。それにしても、沖研究室＝非鉄冶金学だったことからすると、時代の流れを感じさせます。

興戸先生の講演の後は会食・歓談に移り、その間には参加者の近況報告なども行なわれました。参加者皆さんそれぞれの今の生活を伺うのは楽しい時間でしたが、その中で「この会の参加者が高齢化しているね」という指摘がありました。実際今回の参加者も S60 年卒が最若手で、この小文を目にされた関東地区（に限らずどなたでも歓迎です）在住の方は、次回の関東支部総会の参加を是非ご検討ください。案内が届いていない方は、下記事務局までご連絡ください。

また、こうすれば参加できる（時間帯・場所・会費等何でも）というようなご意見がありましたら、同様に下記事務局にお寄せください。次回すぐに反映させるのは難しいですが、できるだけの対応を幹事会で検討していきたいと思っております。

最後に、参加者の方々、また開催に協力いただいた共晶会本部の方々に、この場を借りてお礼を申し上げます。

（共晶会関東支部長 井上 茂）

<事務局からのお知らせ>

事務局：黒岩 和典（S52 卒 戸澤研） kuroiwa779618@gmail.com

次回総会の予定を、以下に記します。特別講演の稗田先生は、バイオマテリアル研究の最前線でご活躍されており、また、関東支部総会始まって以来、初めての平成卒（H16）且つ女性講師です。興味深いお話が伺えると思っておりますので、今迄参加されたことのない方も、これを機に是非参加をご検討ください。

<次回（第 35 回）共晶会関東支部総会の予定>

日 時：2020 年 11 月 15 日（日）11:00～14:30

場 所：学士会館 302 号室（学士会館：千代田区神田錦町 3-28）

会 費：8,000 円

特別講演：稗田 純子 准教授

名古屋大学 工学部 マテリアル工学科

名古屋大学大学院 工学研究科 化学システム工学専攻

材料化学講座 界面・反応動力学研究室

題目：「生体内や低温環境など特殊環境下で使用する機能性材料の開発をめざして」

以上



共晶会関東支部 第34回総会（令和元年11月10日）

関西支部報告

平成 31 年度 共晶会関西支部活動報告

2020 年 3 月 14 日に開催予定をしていました共晶会関西支部の総会、懇親会について新型コロナウイルス (COVID-19) 感染拡大防止を鑑み安心して開催できる時期まで延期することに決定しました。

開催につきましては 夏頃を考えております。

日程が決定次第、あらためてご連絡をさせていただきます。

今後とも皆様のご支援のほどよろしくお願い致します。